

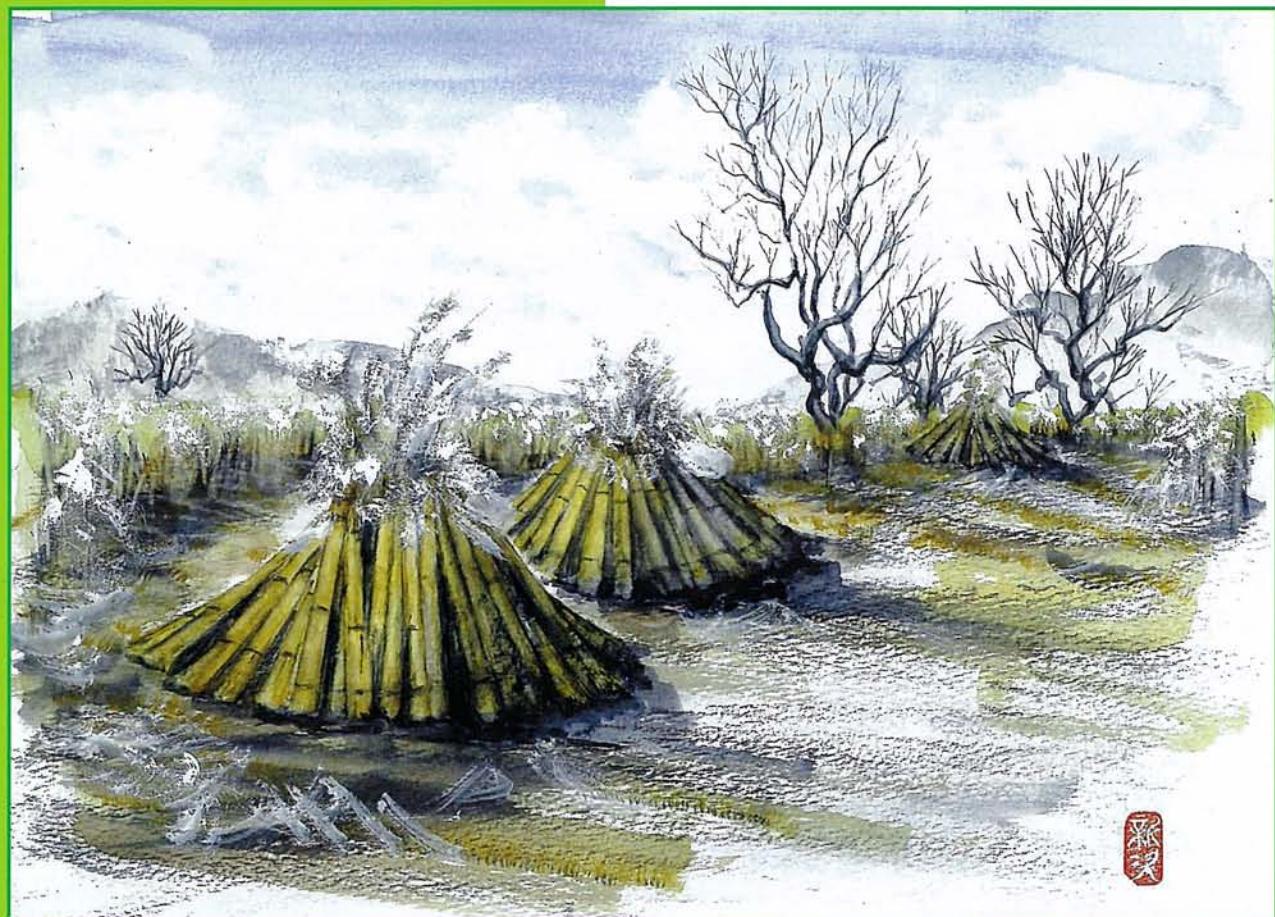
# しゅうけい滋賀

No.108 平成24年1月発行



今般

社団法人 滋賀県造園協会



「葦刈り」(小西新次氏提供)

## contents

■ 会長・年頭のご挨拶	1
■ 滋賀県知事、 県議会議長・年頭のご挨拶	2
■ 現代の名工・おうみの名工・ 県職業能力開発協会長・ 県技能士会長表彰	3
■ 要望活動 土木交通部との意見交換会	4

■ 地区だより	
西・南地区	5
東・北地区	6
■ インターンシップ報告	
湖南農業高校と八日市南高校	7~8
■ 青年部会、防災協定	9
■ 講演会、経済センサス	10
■ 協会日誌	11

## 新年のご挨拶

(社)(職)滋賀県造園協会会長 山村文志郎



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

一昨年の総会で会長という大役をお引き受けいたしまして以来、会員の皆様のご協力を賜りながら、造園協会の活動・運営に取り組んでまいりました。本年も相変わりませずご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

ここ数年、日本経済全体に閉塞感が漂う中、造園業界におきましても公共事業の大幅な削減、又民間工事の減少等、景気回復の兆しがみられず、先行きの不透明感がさらに強まる展開となっているようになります。

昨年3月11日には、東日本大震災という未曾有の災害が起こり、日本全体が大きな打撃を受けました。10ヶ月経った今、少しずつ復旧していますが東日本全体が元通りに復旧・復興するにはかなりの年月かかり、日本経済全体はさらに厳しい状況がつづくと思われます。

しかし、この震災によって引き起こされた原発による環境破壊や、電力不足による節電等は、私達自身の日々の暮らし方を見直す機会になりました。

また、9月には台風12号により和歌山県・奈良県に甚大な被害がもたらされ、この震災や台風の災害によって私たちは常に自然と共に存しているという事を改めて気付かされたのではないでしょうか。

私達が携わっている造園業は、まさに自然との共存なくして考えることはできません。

昨年4月から滋賀県では低炭素社会づくりの推進に関する条例が施行されています。今後、各自治体も「人と自然の共生を図る」という基本的な考え方から、自然再生や生態系の保全等に積極的に取り組んで頂ける事と思っています。

造園協会といましても、県民の方々に「環境」や「みどり」に対しての関心を深めていただき、「人と自然が共生できる未来」の環境づくりのために様々な活動をしていきたいと思っています。

さらに、平成20年度から始めています自治体との防災協定を結ぶ活動も、現在は滋賀県と5つの市(大津市、彦根市、東近江市、近江八幡市、甲賀市)、日野町とで協定を結んでいますが、今後さらに増やして、安心で安全に暮らせる地域づくりに貢献していきたいと思います。

造園協会も、全体の活性化のために何をするべきか、という事を会員の皆様とともに深く考えて行動していき、造園業界全体の発展に寄与できればと思います。

会員皆様方のご協力を重ねてお願い申し上げますとともに、本年も会員の皆様と各企業様のご繁栄をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭に寄せて

滋賀県知事 嘉田由紀子

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

滋賀県造園協会の皆様には、日頃から歴史と伝統の中で培ってこられた技術を活かし、美しい湖国滋賀の景観づくりにご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

新しい年を迎え、東日本大震災の被災地の一日も早い復興に向け、国と地方が一丸となって、着実に歩みを進めていかなければならないとの思いを新たにしているところです。

さて、このたびの震災は、本県においても、人びとの価値観や社会のあり方などに様々な影響をもたらしました。県民の皆さんの中では、命を守ることへの不安、水、エネルギーといった生活基盤に対する不安がこれまでになく高まっているように感じます。とりわけ、近畿1,400万人の命の水源である琵琶湖を預かる滋賀県として、琵琶湖とその周辺の環

境の安全性の確保と、未来の世代を見据えたエネルギー政策が大きな課題となっています。また、あらゆる分野で、これまでの施策の展開を検証するとともに、3.11以降の社会情勢を踏まえ、今後の方向性をしっかりと見極めていかなければなりません。

想定外の災害にあって、困難に立ち向かったのは人間の力でした。滋賀の地に息づく「人の力」「自然の力」「地と知の力」を活かし、人と人の絆を大切にしながら、不安なく暮らせる滋賀、人と自然がつながる美しい滋賀、たくましく活力に満ちた滋賀、安全・安心な滋賀の実現に向け、「子育て・子育ち応援」「働く場への橋架け」など未来を見据えたプロジェクトを戦略的に進めてまいりたいと考えております。

本年も「住み心地日本一の滋賀」の実現に向け、力一杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とお力添えをお願い申しあげます。

結びに、本年が貴協会の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申しあげます。



## 年頭ごあいさつ

滋賀県議会議長 家森 茂樹

新年、明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、輝かしい初春をご健やかにお迎えのことと存じます。

平素は、造園事業を通じ、本県の緑化推進や景観形成、心安らぐ生活環境の創造に多大な貢献を賜っておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、未曾有の大被害をもたらした東日本大震災や、近畿南部に大きな被害をもたらした台風12号など、記録的大災害が相次ぎました。

また、近年、集中豪雨などの異常気象が国内外で発生しており、国際的に地球温暖化防止対策が喫緊の課題となっております。琵琶湖を擁し、四方を山々に囲まれた自然豊かな滋賀県にとりましては、自然と人との共生を目指して、昨年3月に低炭素社会づくりの推進に関する条例を議決するなど、県民一丸となって地球温暖化防止をはじめとする各種環境施

策を積極的に推進しております。特に、二酸化炭素を吸収するみどりを増やす施策は、地球温暖化防止のため必要不可欠となっております。

このように、みどりの果たす役割が高まっている中、造園業界の皆様方が果たされる役割は今後ますます重要になってくるものと思われます。皆様方におかれましては、これまでからも専門的な造園技術や豊かな創造力をもって、本県のまちづくりに多大なご貢献をいただいているところであります。今後とも、自然と人間とが共生するみどり豊かな美しい環境づくりの担い手として、本県のさらなる発展のためにお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げる次第であります。

私ども県議会といましても、新しい時代においてもみどり豊かな滋賀を築くため、県民の皆さんの声を現場主義で真摯に受け止め、共に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、貴協会の今後ますますの御発展と、会員皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。





## 平成23年度「現代の名工」厚生労働大臣表彰

株近江庭園

寺下 弘 氏

卓越した技能を持ち、その道の第一人者として活躍されている人に対する表彰式が去る11月15日(火)に東京都内の京王プラザホテルで行われました。

当協会員から株近江庭園会長の寺下弘氏が卓越した技能者表彰を厚生労働大臣から受賞されました。



## 平成23年度 滋賀県技能者(おうみの名工)知事表彰

三村造園株

三村 善 雄 氏

技能者(おうみの名工)に対する滋賀県知事表彰が去る11月7日(月)に滋賀県公館で行われました。

当協会の会員から、三村善雄氏(株三村造園代表者)が技能者の地位向上および技能水準の向上に寄与したことにより技能者(おうみの名工)として滋賀県知事から表彰を受けられました。



## 平成23年度 滋賀県職業能力開発協会会长表彰

株重野緑地建設

重野 彦兵衛 氏

永年にわたり職業訓練の指導に携わり、その功績が顕著である者等に授与される職業能力開発協会会长表彰が去る11月30日(水)、滋賀県庁において行われました。

当協会員からは、重野彦兵衛氏(株重野緑地建設代表者)が永年の職業訓練指導に対し功績が認められ職業能力開発協会会长表彰を受けられました。



## 平成23年度 滋賀県技能士会長表彰

田中庭園

田中 勉 氏

後輩の技術指導と技能水準の向上に寄与している技能士に対して贈られる滋賀県技能士会会長表彰が去る11月30日(水)、滋賀県庁において行われました。

当協会員から、田中勉氏(田中庭園代表者)が永年技能者功労者として滋賀県技能士会会長表彰を受けられました。



## 土木交通部 松本技監との意見交換会開催!!

県土木交通部との意見交換会を、11月11日午前10時より県庁本館会議室で行った。



県側の出席者は、松本土木交通部技監、拾井監理課長、平田建設業担当参事、城居審査契約担当参事、國友技術管理室長補佐、嶋寺都市計画課長、苗村公園緑地担当参事の7名。協会からは、山村会長、他谷副会長、小西副会長、事務局1名の4名を行った。(高木副会長は会議が重なり欠席。)

意見交換会は、松本技監の挨拶で始まり、防災協定の締結や鳥インフルエンザへの協力等県政全般にわたる協力や、県庁玄関前のフラワーポットの植え替え等に対しお礼を述べられた。

山村会長は、平素の配慮について感謝を述べるとともに、自然再生、生態系の保全に大きな役割を持つ緑は、人々の心に安らぎ、優しさ、うるおいをもたらし、暮らしの豊かさの中で欠くことのできない要素であり、政治家にはもっと積極的に取り組んでほしい。また、県が進めている低炭素社会づくりの推進に積極的に対応する旨を述べた。

その後自己紹介を行い、要望書を山村会長から松本技監に手渡した。(上・写真)

要望内容については、事務局から説明を行った。

要望事項は4点で、先ず造園技能士の現場常駐化である。昨年の11月から適用された土木共通仕様書には、①高木または中木が含まれる樹木の植付、支柱取付、樹木管理を伴う樹木植栽工②その他、造園技能士の技術が必要と認められる工事については、1級または2級造園技能士の現場常駐が明記された。

このため、今後は、樹木維持管理についても技能士の常駐を制度化するよう要望を行った。

これに対し、共通仕様書の見直しで、工事については技能士の常駐の文章を入れた。基本的には、個別の工事の中で、特記仕様書で対応する考えである。今年度は、新たに長浜土木事務所でも合計14カ所で実施した。運用の拡大ということで、各土木事務所には周知を図る。また、協会からも情報の提供を

お願いしたいとの意見が出された。

2点目は、土木施設維持管理業務の剪定業務に技能士を必須として頂きたいとの要望であるが、現道での維持管理を考えると基本は施工管理技士が主であり、かつ技能士となるには、従来どおり現場ごとに考えて特記仕様で対応すべきとの意見であった。

3点目は、ややもすると手抜きされやすい業務であると考えることから、土木施設維持管理業務の竣工検査等を充実して頂きたいことについて、目的物がないことから基準等がない。また、刈り幅や延長等を確認しており、見栄え等も確認しており、適正に対応されていると認識しているとの回答であった。

4点目の都市緑化フェア誘致に向けての取組に対し、財政状況等を考えると非常に厳しい状況ではあるが、世論の盛り上がりが重要であるとの意見が出された。

### 要 望 事 項

- ◎ 樹木管理業務についても、造園技能士の現場常駐を制度化して頂きたい。
- ◎ 土木施設維持管理業務の剪定業務に関する資格要件を見直して頂きたい。
- ◎ 土木施設維持管理業務の竣工検査等を充実して頂きたい。
- ◎ 都市緑化フェア誘致に向けての取組をお願いしたい。

上記要望については、10月31日に民主党・県民ネットワークとの意見交換会。また、11月17日には自民党との意見交換会があり、4項目について理解を求め、協会の実情を訴えました。



県土木交通部との意見交換会

## 西地区

## 西地区活動報告と抱負

西地区長 阪口 義人

地区懇談会から早6ヵ月が過ぎようとしています。西地区では、いろいろな事業を会員の協力を得て何とかこなしつつありますが、ここにきてどうしようもない現実がやってまいりました。会員が段々と減ってきてることです。

仕事の減少で、先行き不安です。

皆さんはどのように感じておられますか？日本はどうなるのでしょうか。でも、私たちは、日々の生活中で前へと生きていかなければなりません。

造園屋はどうしたいのか、一人一人が真剣に考え、将来どうしたら良いのか考え方行動に移す時です。仲間を増やし、いろんな所で緑の大切さをアピールし、少しでも緑を増やすことに努力しましょう。造園の必要性こそが、今いろんな所で行っているECOに繋がると思います。

哲学者アリストテレスの残した言葉の中に、「眞の音楽家とは音楽を楽しむ者であり、眞の政治家とは政治を楽しむ者である」と言いました。

自分がしていることを楽しめるのは、能力の証だというのです。つまらない芝居を見ると退屈しますが、自分が芝居に出るとなると退屈などしていられません。一生懸命になりますよね。そうです舞台に上がって前を向いて、自分の仕事を楽しみましょう。他に有りますかこんな楽しい仕事が！



研修旅行(平成23年10月31日)

## 南地区

## 「おうみしごと体験フェスタ」を開催

南地区長 西沢 傳夫

## ◎おうみしごと体験フェスタに参加

10月15、16日の両日にテクノカレッジ草津において、小学生から中学1年生を対象に様々な職場を紹介するとともに、実際に仕事を体験させ、職業観・勤労観を育むきっかけ作りを行い、成長段階に応じた職場教育に繋げることを目的にした第1回目の「おうみしごと体験フェスタ」が開催されました。



「おうみしごと体験フェスタ」の様子

協会南地区的事業として、草津・栗東支部が大変忙しい中取り組んでくれました。

15日は、あいにくの小雨となりましたが、沢山の来場者を迎え、室内を飾る苔玉作りに取り組んでいただきました。子供たちの真剬な顔を見て、和やかな気持ちになりました。

## ◎研修会の開催

11月26日、地区的県外学習として名古屋への日帰り研修を実施しました。



奥殿陣屋前にて

最初に見学したのは丈山苑で、ここは唐様庭園・回遊式池泉庭園・枯山水蓬莱庭園を組み合わせた本格的な庭園でした。続いて奥殿陣屋、その昔持統上皇が命名されたと伝えられ、村積山の麓、松平家の親藩として建造されたとのこと。庭は、古図にある池庭をモデルに江戸初期の作風を生かした蓬莱の庭として復元されたそうです。記念写真は奥殿陣屋前のものです。

今後の事業計画として、新春親睦ボーリング大会を計画しております。

## 東地区

## 東地区便り

東地区長 武藤 晶男

年度後半に入りましたが、当初の事業計画も少しづつ実施しながら取り組みを進めています。

地区スポーツ大会は県青年部の皆さんによるスポーツ交流大会が当地区内で実施され、当地区からもたくさんの方々に参加いただきました。他地区の会員さんとの交流も出来て大変良かったと感謝しています。青年部の皆さんご苦労様でした。

防災関係での取り組みは、去る8月28日に東近江市で実施された総合防災訓練に市内在住会員が参加しました。当日は行政や各団体の参加で実施され、私たちは、災害発生時に道路へ街路樹倒木が発生という想定での処理作業にあたりました。また、12月7日には日野町との防災協定締結式を行いました。式には町内会員さんも出席していただき、常日頃業に取り組んでいる中で防災対応へのアピールをしていただけたらと思います。

一方、11月4日に研修会を実施しました。平日にも拘らず出席いただき身近な所での庭園や景勝地の見



## 北地区

## 北地区活動報告

北地区長 須賀 俊雄

川庭園を解説していただきました。

当日は、18名の方にご参加頂き、店先の土間でスクリーンを用いて進められ有川様のご好意で土間から座敷に上がりさせていただき庭園を鑑賞させてもらいました。



## 彦根市防災訓練

8月27日(土)、彦根市の総合防災訓練が稻枝ふれあい広場を会場とし実施されました。北地区会員10名が防災訓練に参加をしました。

昨年と同様、道路確保のための倒木処理の訓練を行い、協会名入りのパトロールベストを着用して、協会のアピールも行いました。

町屋、古民家庭園整備 9月23日(祝)、古民家の庭園整備を15名の参加で作業を開始しました。長年手入れがされていないよう、透かし技法で大胆に透かし生実木や枯死木は根元から伐採することとしました。

今後、本格的な剪定、作庭作業が必要と感じました。庭園講演会 10月9日(日)、京都造形芸術大学教授の仲隆裕氏を講師に招き、古民家庭園を活用した町づくりをテーマにして、赤玉神教丸でお馴染みの有



仲先生、野村先生

滋賀県文化財保護協会

重田 勉氏

彦根市谷口文化財部長

三尾 学芸員

多賀大社奥書院庭園は、埋蔵技術者として現場で指揮を取られた重田氏に保存修理の苦惱話を折り込みながら説明をしていただきました。

やみくもに復元はしない、根拠なくして発掘はないとのことでした。

《名勝玄宮樂々園》 午後から小雨の中、発掘調査の資料を手に護岸部の説明を受け、徐々に整備されている様子を感じる事が出来ました。実生木の伐採された巨木の痕跡などを見ると、長い年月の歴史を感じます。

# インターンシップ報告

～校外委託実習～

## 社会生活に必要な能力、態度を育てる

滋賀県立湖南農業高等学校 環境緑地科  
教諭 松井 吾朗

■社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度および望ましい勤労観、職業観を育てるすることを目標に、

- ①企業や事業所の仕組みや規律、社会人としてのマナーを学習する。
- ②勤労体験学習を通じて、職業に関する知識を深めること。
- ③勤労の尊さを学び、職業意識の高揚と自己の適性を探ること。

2学年の生徒を対象に行っています。



9月22日(木) 26日(月)  
実施時期 27日(火) 28日(水)  
29日(木) の5日間

### ■受入先

#### ◇官公庁◇

- 1 希望が丘文化公園 2 近江富士花園公園
- 3 びわこ地球市民の森 4 水生植物公園
- 5 びわこ文化公園

#### ◇造園業者◇

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 株竹川造園   | 2 株中西園材     |
| 3 中西造園(株) | 4 株宝山園      |
| 5 株中央樹景   | 6 有花園       |
| 7 近畿花壇(株) | 8 近江花勝造園(株) |
| 9 株三村造園   | 10 青木造園     |
| 11 植西造園   | 12 株吉井造園土木  |

### 一生徒の感想文

平尾 亮太

最初は、担当の方とうまくやっていけるかなど不安な気持ちがありました。しかし、通っていくうちにどんなことをしているのかが理解でき、担当の方は親切な人たばかりで次第にやりがいが出てきました。

担当の方々による説明で環境や様々な活動について学ぶことができ、とてもためになりました。そして実習では、作業していく際に担当の方が樹木名や効率の良い作業の進め方などを教えてくれるので、自然と覚えることができました。実習後に感じたことは、ただ作業するのではなく、ある程度の知識を頭に入れて作業をした方がやりがいが出て、作業もスムーズに進めることができるということがわかりました。そして、人が快適に過ごすには、自然と共存していくことが大切だということわかりました。

担当して頂いた方々には、本当にお世話になり感謝しています。

赤井 一太

初めは、失敗したら、どうしようという不安がありましたが、実際に作業をしていると学校にはない不思議な樹木などがあって楽しかったです。

測量の作業では、ポールとメジャーで土地の面積を求めました。とても広いところだったので移動も疲れたけれど、楽しくできました。たくさんのこと教えて頂き、ありがとうございました。

横山 若人

最初は自分一人だったので、すごく不安でしたが、職場の人たちは、とても優しく、ていねいに教え

てくれたので、安心して作業ができました。

朝の集合時間がとても早いので、毎日が辛く、嫌でした。しかし、インターンシップを通して、仕事の責任感と緊張感と達成感を味わうことができました。

また、これを良い経験にして、これからも学校での実習などに役立て、がんばって学校生活を送っていきたいと思っています。お世話になり、本当にありがとうございました。

## 専門性の充実と 進路への一助として

滋賀県立八日市南高等学校 緑地デザイン科 教諭 松井 仙一郎

造園協会ならびに会員の皆様には、日頃からお世話になり誠にありがとうございます。本校の「校外委託実習（インターンシップ）」も20回目を迎え、今年度は、例年より1ヵ月早い、9月28日(水)～10月4日(火)の5日間実施させていただきました。

今回も北は彦根市から南は湖南市と広範囲にわたる26事業所にお世話となり、緑地デザイン科2年生37名全員が参加し、昨年度同様に女子生徒が多く、受け入れていただく事業所様には、何かとご配慮いただき、無事に終えることができました。

さて、今回の校外実習では、残暑厳しいものになると不安に思っていましたが、9月の台風一過もあり、過ごしやすい実習日和に恵まれました。

皆さんも新聞等でご承知のように、現在、平成26年度をめどとした高校再編に向け、農業高校でも新たに「農業の6次産業化」を目指したカリキュラム編成に着手しています。

また、後継者育成ならびに造園業従事者の養成をはじめ、環境教育にも視野に入れたスペシャリストの育成を理念に取り組んでいきたいと思います。

このように、本校では、学校では補えない「造園技術」をはじめ「社会教育」について、今後とも地域の教育力を借りて、本校の生徒に「生きる力」を育みたいと考えています。

最後に今年度参加した生徒の感想をもって、報告に代えさせていただきます。



緑地デザイン科 2年男子

五個荘内にあるお寺の庭木の剪定をしました。キンモクセイの刈り込みだったため、キンモクセイのとてもいいにおいがしました。

最終日は彦根まで個人庭園の剪定に行きました。そこでは、キンモクセイ、サツキツツジ、ツゲなどの刈り込みをしました。その頃には仕事にも慣れ、テキパキと仕事をこなせるようになっていました。



緑地デザイン科 2年女子

校外実習を終え、私は少しかもしれませんが、自分のすることに責任をもつ力が身に付いたと思います。

なぜなら、実習でプロの人たちと一緒に依頼された仕事をこなしていくうちに、遊びじゃなく仕事だという気持ちと緊張から、丁寧に落ち葉、切り葉を拾うこと、慎重に枝を切ることなどをとても意識できたからです。



# 活動報告

## 青年部会

青年部会 部会長 武藤 嘉辰

11月13日の日曜日に東近江市の愛知川河川敷にあります「ふれあい運動公園」において、県全体スポーツ大会が開催されました。

以前には実施しておりましたが、地区制への移行により大会が開催されていませんでしたが、今回青年部会（部会長 武藤嘉辰）の努力により開催することができました。

当日は、曇天ではありましたが冷たい風も吹かず、穏やかな日和で、キックベースボールとゲートボールの2種目の競技を行いました。



スポーツ大会の開会式の様子



事業主をはじめ、従業員の方々やその家族等で100名を超える参加をいただき、和気あいあいの雰囲気の中で競技を行い、楽しい1日を過ごすことができました。



キックベースボール（上）、  
ゲートボール（下）

## 防災協定を締結



平成23年12月7日 日野町役場で調印式

### ■災害時における応急救援活動への応援に関する協定

平成23年12月7日に、（社）滋賀県造園協会東地区は、日野町役場会議室において、日野町と「災害時における応急救援活動への応援に関する協定」を締結しました。

調印式には、藤澤日野町長をはじめ関係職員の方々が出席され、当協会東地区からは、武藤地区長、重野副地区長、小川事務長、藤田会計長、岸村事業推進委員、三添・磯崎協会員、山村会長が出席し、報道機関が見守る中で執り行われました。

藤澤町長は、万が一にもあってはならない災害ではあるが、万が一の場合には、行政だけではなく地域や町民、そして専門知識や機械を持っている皆さん之力をお借りして、応急救援活動を行わなくてはならないと語っていました。

武藤地区長は、協定締結を契機に、日野町との結びつきを一層深め、万全の体制を整えたいと決意表明を行いました。



藤澤町長と握手を交わす武藤地区長

## 講演会

### 「わたしたち造園業界ができること」

（社）滋賀県造園協会と（社）日本造園建設業協会滋賀県支部との共催による講演会が彦根キャッスルホテルで12月2日に開催されました。

講師には、（社）日本造園建設業協会の技術情報共有発表会等で講演されている藤田良司氏（株式会社九州造園代表取締役）を招き、「高架下緑化・L.I.D（低影響開発）」等について講演をしていただきました。

普段実務を行っている方からの説明であり、施工事例などの写真を使いながらのお話や、行政側等と



彦根キャッスル  
ホテルで開催さ  
れた藤田良司氏  
の講演会

であったことから、会員の方々が身近に感じられたと思います。

当日は、年末の忙しい時期にも関わらず、県内各地から50余名の会員の参加を頂きました。

最近の厳しい社会環境の中、待ちの姿勢ではなく、

一工夫する姿勢  
が大事なように  
感じられました。

## 経済センサス活動調査

### 《調査の意義・重要性》

●経済センサス活動調査は…我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査（統計法に基づく基幹統計調査）であり、調査結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。



### 平成24年経済センサス・活動調査を実施します。

- 平成24年2月に全ての企業・事業所を対象とした経済センサス・活動調査を実施します。
- 調査結果は、各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。
- 支社等のない事業所等には、調査員が直接伺い、調査票を配布します。
- 支社等を有する企業等には、国、都道府県及び市が、民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送し、インターネット又は郵送で回答していただきます。
- 調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答をよろしくお願ひいたします。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

# 造園協会日誌

## お知らせ

協会では、現在ホームページの更新作業を行なっております。  
リニューアルを2月上旬頃予定しておりますので、更新された  
ホームページをご覧いただきますようお知らせします。

『<http://shiga-zouen.net/>』

## 9月

- 4日 造園施工管理技術検定試験(1級)  
5日 正副会長会議  
6日 八日市南高等学校校外実習説明会  
10日 県庁玄関前花壇植替  
13日 ホームページ作成委員会  
26日 (社)日造連との協議  
30日 おうみしごと体験フェスタ実行委員会

## 10月

- 4日 正副会長会議  
11日 湖南農業高校コーディネート委員会  
13日 総務運営委員会  
15日 おうみしごと体験フェスタ  
~16日  
19日 技能士会正副会長会議  
21日 法人税法説明会  
28日 労働保険事務組合担当者会議  
31日 民主党・県民ネットワーク要望聞き取り

## 11月

- 2日 正副会長会議  
2日 理事会  
7日 おうみの名工表彰式  
11日 土木交通部との意見交換会  
13日 スポーツ大会  
15日 (仮称)技術部会  
17日 自民党の要望聞き取り  
18日 滋賀県建設雇用改善推進大会

## 24日 年末調整説明会

- 30日 滋賀県職業能力開発促進大会

## 12月

- 2日 講演会(藤田良司氏)  
7日 東地区防災協定調印式(日野町)  
12日 正副会長会議  
16日 民法法人実地検査  
16日 緑化推進評議会  
17日 県庁玄関前花壇植替  
22日 滋賀県建設業暴力追放大会  
28日 仕事納め

## 1月

- 4日 仕事始め  
12日 建産連新春賀詞交歎会

## 《訃報》

- ◎緑地開発株 西沢 健様  
(代表者) (平成23年10月29日逝去)  
◎花繁造園 藤田 繁一様  
(藤田一枝様のご尊父) (平成23年11月8日逝去)

## 《代表者名の変更》

- ◎湖南・甲賀支部 緑地開発株  
〔変更後〕 西沢由美子  
〔変更前〕 西沢 健  
◎東近江支部 花繁造園  
〔変更後〕 藤田 一枝  
〔変更前〕 藤田 繁一

## 協会からのお願い

会員・従業員の皆様から、身近な出来事、ご提言、ご意見等を事務局までお寄せ下さい。「しゅうけい滋賀」の記事として登載させて頂きます。

本誌を、会員の皆様の情報交換の場としてもご活用下さい。

